



第2回スピーチ集会

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第12号

発行責任者
校長
仲田欣五

石中のスケジュールなどを表で見せてくれて、見やすかったです。もしかしたら、来年行くかも知れないので少しだけ楽しみにになりました。
(2年 末吉英星)

「環境の違い」

3年村田海渡行

この前テレビを見てみると、世界の子どもの内容が取り上げられている番組がありました。そこでは、1人の男の子が学校にも行けずに毎日水くみをしていることについて書かれていました。そこで皆さんは世界中に暮らす子どもたちは普通に学校に通い勉強ができると思いますか？

僕の住む日本では、義務教育という定められた教育があります。日本では約9年間義務があり、子どもは教育を受ける権利、親は子どもを学校に行かせる義務があります。ここまで来ると、「学校に行くのは当たり前」「そこまでして学校に行きたくない」と思う人もいられるかも知れません。しかし、世界の国々では、子どもたちが学校へ行き、教育を受けられなくても受けられずに働いているのは少なくありません。「なぜこのように、日本と他国では差があるのだろうか」僕は疑問に思いました。その番組によると、経済格差が影響しているそうです。日本は先進国なので教育を受けられますが、アフリカなどの発展途上国では、経済に差があり、教育を受けられない。つまり、「貧富の差」があるのだそうです。

また、他の番組では、ホームレスの男の子について取り上げていました。その男の子は、「自分にお金があれば学校に行けない子を学校に行かせたい」と言っていました。

これらの現実を知ると、僕たちはとても贅沢で、幸せな環境にいるのではないかと考えることができます。また、ホームレスの男の子のように、自分だけではない、周りのことも考えているのを見ると、自分はどうかろうと自分を見つめ直すきっかけになりました。

今、僕にできることは、怠けるのではなく、勉強ができておいしいご飯が食べられて、何より贅沢な暮らしをしている僕たちだからこそ、勉強にしっかり取り組み、ご飯を残さないで食事に感謝をし、また、たくさんの人にも感謝することを心がけていきたいです。そして、僕だけじゃなく、みんなにもできることは、ユニセフや募金活動に協力したりすることです。自分が住む世界が良ければ良いのではなく、同じ世界に住む仲間だからこそ、仲良く助け合い共同していくのが大切なのではないかと僕は考えます。

僕は今年の夏、ホームステイに参加しシアトルに行きます。シアトルでは、言葉も違い、文化も違います。なので、英語がよく分からないからといって、話さなかつたり、コミュニケーションから逃げるのではなく、自分から積極的に話しかけたりしたいです。言葉が分からなくても、自分の意思を伝える努力をすることが大切だと思います。このようないくのことでもお互いの助け合いにつながっていくのだと思います。

みなさんも、今一度自分のいる環境について考えてみてください。

今自分が学校に行けるのも幸せなことなんだなあと思いました。私も募金活動などを通して学校に行けない子どもたちの力になれるといいなあと思いました。

(1年 津嘉山 涼)

「交流学习を通して」

3年津嘉山朋花

今回、私たち3年生は、3日間石垣中学校で交流学习を行いました。大規模校である石中の生徒と同じように、朝登校し、授業を受け、下校までの一日の流れを体験しました。ここで、1、2年生の皆さんに、石中の一日の様子を紹介したいと思います。1年生の皆さんは10月に交流学习があるので参考にしてください。

まず、石中の登校時間は8:15で船中に比べ少し遅めです。登校後は教室で読書をしたり生徒会のメンバーは、校内の清掃活動を行います。今回はテスト前だったため、勉強をしている人もいました。毎週水曜日には体育館で全体集会があるそうです。そして、8:40分から朝の会を行います。55分から授業が始まります。教室の雰囲気はこんな感じです(写真を見せる)。1組は私たちを入れて41人だったので教室はぎゅうぎゅうでした。授業の雰囲気は船中と比べて人数が多いので活発でとても楽しかったです。そして、12:45から給食を各教室で食べます。1:20から清掃活動が始まります。私が担当した清掃は教室の机の落書き落としでした。船中にはない清掃担当者がたくさんあり、ビックリしました。

石中では休憩時間が前半30分、後半帰りの会の後の15分に分けられていました。毎週金曜日はゼミ日課で7校時まで授業があるそうです。帰りの会では、お題日記といって、その日各学年で決めたテーマに沿って日記を書く時間があります。

交流学习2日目には、サプライズで歓迎会を開いてくれました。これは最後の碑にもらったものです(写真を見せる)。

今回、3日間を石中で過ごしてみて、はじめは緊張で心臓が痛かったのですが、みんなやさしく声をかけてくれたので、安心して楽しく交流学习を終えることができました。1年生の皆さん、石中の生徒はみんな明るく、フレンドリーな人が多いので、心配しないで楽しんでみてください。私も人見知りで自分から声をかけることが苦手で不安でしたが、相手からどんどん声をかけてくれたのですぐに仲良くなることができました。3日間、貴重な体験をすることができ、大規模校のよさや私たち船中のよさも改めて感じる事ができたので、今後それを生かして、さらに頑張りたいと思います。

今僕たちは生活に困らず、毎日楽しく過ごしていますが、世界ではいろんな国があって、自分たちとは違う生活をしているところもあると改めて知ることができました。これからも今の生活に感謝しながら過ごしていきたいです。

(3年 大城空也)

石中の様子がよくわかって、早く行ってみたいと思いました。机の落書き消し係というのがおもしろそうだなと思いました。写真があって分かりやすかったです。

(1年 渡辺はるか)

JICA研修生との交流会



昨年、JICAの研修生(医療、看護関係の研修生)が本校を訪れ、交流会を持ちましたが、今年も先週25日(火)にJICAに研修中の開発途上国の教育行政官等が来校し交流会を持ちました。校長が地区校長研で不在だったため、学校の概要説明を池城教頭が行い、その後給食を通して交流しました。清掃の様子や施設見学をした後、5校時の授業を参観しました。そして6校時に図書館で全体道徳(国際理解)として、お互いに自己紹介をしたり、池城教頭がデンサ節を弾いたり、グループごとに質問し合ったりして交流を深めました。そして最後にみんなで記念写真を撮りました。グローバルな社会に向かっている中で、外国の方々とこのような交流が持てたことは、本当に貴重な経験となりました。

